

第45回全日本ライフセービング選手権大会 チーム参加募集要項

全日本
2019

チーム1次要項

■日程会場

- | | | |
|------------------------|-------------------|--------------------------|
| ①近畿ブロック予選会 | 9/7(土) | 白良浜海岸 (和歌山県) |
| ②北関東ブロック予選会 | 9/14(土)・9/15(日) | 御宿海岸 (千葉県) |
| ③南関東ブロック予選会 | 9/14(土)・9/15(日) | 湘南ベルマーレひらつかビーチパーク (神奈川県) |
| ④東海ブロック予選会 | 9/15(日)・9/16(月祝) | 相良サンビーチ (静岡県) |
| ※兼 第6回中日本ライフセービング選手権大会 | | |
| ⑤本選 | 10/12(土)・10/13(日) | 片瀬西浜海岸 (神奈川県) |

■主催 公益財団法人 日本ライフセービング協会

■特別協賛 第一三共株式会社

■競技種目 【個人種目】

- 01 サーフレース (女)
- 02 サーフレース (男)
- 03 サーフスキーレース (女)
- 04 サーフスキーレース (男)
- 05 ボードレース (女)
- 06 ボードレース (男)
- 07 オーシャンウーマン
- 08 オーシャンマン
- 09 ビーチフラッグス (女)
- 10 ビーチフラッグス (男)
- 11 ビーチスプリント (女)
- 12 ビーチスプリント (男)
- 13 2km ビーチラン (女)
- 14 2km ビーチラン (男)

【チーム種目】

- 15 レスキューチューブレスキュー (女子4名1チーム)
- 16 レスキューチューブレスキュー (男子4名1チーム)
- 17 ボードレスキュー (女子2名1チーム)
- 18 ボードレスキュー (男子2名1チーム)
- 19 オーシャンウーマンリレー (女子4名1チーム)
- 20 オーシャンマンリレー (男子4名1チーム)
- 21 ビーチリレー (女子4名1チーム)
- 22 ビーチリレー (男子4名1チーム)

【BLS アセスメント】 (本選会のみ実施)

- 23 BLS アセスメント (各チームからのエントリーは1組のみ)

- ◇ 中学生が出場できる種目は、ボードレース (男女)、ビーチスプリント (男女)、2km ビーチラン (男女)、レスキューチューブレスキュー (男女)、ボードレスキュー (男女)、オーシャンウーマンリレー (ボードとランの区間)、オーシャンマンリレー (ボードとランの区間)、ビーチリレー (男女)、BLS アセスメントです。

- ◇ チーム種目は各チームから1チームのみのエントリーとします。
- ◇ BLS アセスメントは予選会では行わず、研修会を実施する予定です。
- ◇ BLS アセスメントについても他のチーム種目と同様に、各チームの登録競技者の中から2名のエントリー制にします(必須参加種目ではありません)。詳細につきましては2次要項でお知らせいたします。

■ドーピング検査について

1. 全日本ライフセービング選手権大会(地方ブロック予選会も含む)、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
2. 本競技会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。
3. 18歳未満の者については、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続に対する親権者からの同意書を所属競技団体へ別途提出しているもののみエントリーできる。
4. 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかつた場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
5. 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意すること。
6. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認すること。

【18歳未満の方のみ】ドーピング検査に関する18歳未満の競技者親権者の同意書

18歳未満(競技会1日目現在)の方は、ドーピング検査に関する18歳未満の競技者親権者の同意書の提出が必要となります。本競技会の各種要項掲載内より「ドーピング検査に関する18歳未満の競技者親権者の同意書」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、期日までに郵送提出してください。

■予選会

予選会につきましては、下記の通り指定された地区予選会に出場して下さい。

- ◇ クラブのエリア分けは、クラブの主たる活動の拠点がある都道府県とします。
- ◇ エリア分けについては、下記のとおりとします。

1. **北関東ブロック** (茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉)
2. **南関東ブロック** (東京、神奈川、山梨)
3. **東海ブロック** (岐阜、静岡、愛知、三重)
4. **近畿ブロック** (滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、)
5. **全ブロック選択可能地区** (北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島、新潟、富山、石川、福井、長野、鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄)

■本選出場枠

本選出場枠については、下記の通りとします。

- ・本選出場数について：各種目において決勝、準決勝、予選等の設定から人数を割り出します。決勝、準決勝、予選等の設定については、各種目の予選会エントリー数や種目の特性を鑑み設定します。

<例>

種目A 決勝15名、準決勝45名(1H15名×3H、5UP)、予選135名(1H15名×9H、5UP)
本選出場135名

- ・各予選会での本選出場枠について：本選出場数を各地域の種目エントリー数にて割合を均等化します。均等化出来ない場合は、近づけます。また、エントリー数が2以上あれば、均等化にかかわらず最低2

は与えられます。

■タイムテーブル

参考までに、2018年度実施版のタイムテーブルを掲載します。

詳細は、エントリー集計後の2次要項でお知らせいたします。予選会は、例年通り本選出場者を決定する競技会として決勝は行いません。

■得点と表彰

① 本選では、各競技上位1～8位を入賞とします。1～3位はメダルを授与し表彰式で表彰します。また、チーム総合得点により、上位1～8位を入賞とし、1～3位は表彰状を授与し表彰式で表彰します。なお、ライフセービングチーム最優秀の証として、総合優勝チームには日本ライフセービング協会理事長杯が贈られます。

決勝の結果に対して得点を加算し、個人、チーム種目とも同じ得点とします。

ブロッキングシステムを採用します。

同種目に同じチームの選手が複数入賞した場合、最上位選手のみ加算され、下位選手の得点は加算されません。また、ブロッキングシステムによる得点の繰り上りはありません。

配点は以下の通りです。

1位－8点、2位－7点、3位－6点、4位－5点、5位－4点、6位－3点、7位－2点、8位－1点

例・1位と2位が同じチームだった場合

1位－8点、2位－加点なし、

3位－6点、4位－5点、5位－4点、6位－3点、7位－2点、8位－1点

1. チームの総合得点が同点の場合は、1位の種目の多いチームを、1位の種目が同数の場合は、2位の種目の多いチームを・・・というように総合順位を決定します。
2. 決勝で失格の場合は0点とします。
3. 総合順位は、実施種目の70%以上の最終競技結果をもって成立するものとします。

② オープン選手の参加による得点への影響について

決勝進出人数が限られている種目に、オープン選手が参加することで8位までの順位が決められない場合、その順位と得点はつかなかったものとします。

③ BLS アセスメントの表彰については検討中です。

■海外選手（日本国以外に国籍を持つ者・日本国居住者は除く、また日本国に住み票登録のない日本国籍を持つ者）の出場登録について（詳細別紙参照）

参加規定に準じている海外選手は国内クラブの一員として出場登録を認めます。満たさない場合でもオープン参加は可能ですので、別紙「オープン参加規定」をご参照ください。

■エントリーについて

◇ 予選会にエントリーせず本選会のチーム種目に出場（エントリー）することはできませんので、本選会のみチーム種目に出場する予定の選手も、予選会にエントリーください。

■参加費

【参加費】

一般	…	1名	8,000円	※保険料含む。
高校生	…	1名	5,000円	※保険代含む
中学生	…	1名	4,000円	※保険代含む

個人種目のエントリーは選手1名につき2種目までとします。（チーム種目、BLSアセスメントはこ

の限りではありません。)

【チーム種目参加費】

1 種目につき 1,000 円

【変更手数料】

申込締切後であっても、エントリーミスによる出場種目・その他の記載事項の変更が可能です。但し、申込締切時にエントリー登録されている方のみを対象とし、新たな選手のエントリーは認められません。

また、変更手数料として1つの変更につき 3,000 円が必要です。

振込先は参加費と同様の口座です。期限内に必ず振込下さい。期限内に変更手数料の振込のない場合は変更を受付けません。

例：種目を1つ変更＝＋3,000 円

種目を2つ変更＝＋6,000 円

【参加費について】

参加選手が欠場、あるいは失格となった場合でも参加費及び変更手数料は返還されません。また、参加申込締切後の出場登録の取り消し、天候その他の理由により、やむを得ず中止になった場合でも参加費及び変更手数料は返還されません。また、エントリーミスにより競技会に出場できない場合にも、返金は致しませんので、エントリー作業はお間違えのないように十分ご注意ください。

■保険について

本競技会参加規程のもとでの参加者（選手、競技役員）は、以下の保険に加入しています。なお、賠償責任保険については、競技会参加者同士の事故には法律上の賠償責任が発生しないため保険の対象となりません（例：レース中、A 選手のクラフトが B 選手のクラフトにぶつかり B 選手のクラフトが破損した）。競技会期間中の場合は、大会本部事務局にお知らせください。

< 傷害保険 >

死亡保険金額	500 万円
後遺障害保険金額	500 万円～20 万円
入院保険金額	3,000 円
手術保険金額	入院保険金額の 5 倍～10 倍
※代理店：有限会社リプロ（0466-55-4388）	

< 個人賠償責任保険 >

賠償責任保険（身体・財物）	1 億円
※1 事故につき 5 千円の自己負担	
※代理店：株式会社第一成和事務所（03-5645-1071）	

< 団体賠償責任保険 >

賠償責任保険（身体・財物）	2 億円
賠償責任保険（管理財物）	50 万円
賠償責任保険（人格権侵害）	50 万円
事故対応費	500 万円
見舞費用（死亡）	50 万円
見舞費用（後遺障害）	2 万円～50 万円
見舞費用（入院）	2 万円～10 万円
見舞費用（通院）	1 万円～5 万円
※代理店：株式会社第一成和事務所（03-5645-1071）	

■認定審判員の選出について（本大会に選手登録をしていない方）

他の公式競技会と同様に、各チームの参加人数に応じた認定審判員の選出をお願いいたします。競技会日程が延び、参加人数も増加してきているため、競技会運営を円滑にするための導入措置となりま

す。ご理解とご協力のほどお願いいたします。詳細は、参加規程「審判員の選出」をご確認ください。

■宿泊/食事

- ・近畿ブロック予選会
【宿泊・食事】各チームでご用意ください。
- ・東海ブロック予選会
【宿泊・食事】各チームでご用意ください。
- ・北関東ブロック予選会
【宿泊】御宿町観光協会に別紙にて直接お申込み下さい。
【食事】各チームで用意ください。
- ・南関東ブロック予選会
【宿泊・食事】各チームで用意ください。

■代表者会議

競技上の注意事項や競技会に関わることについて説明をする代表者会議を開催します。詳細につきましては2次要項でご案内します。チーム代表者は必ずご出席ください。なお、やむを得ずチーム代表者が出席できない場合は、参加選手で代表者に準ずる方の出席をお願いします。

■その他

【競技成績証明書】

各種目で入賞された選手で、競技成績証明証が必要な方は JLA ホームページ (http://jla.gr.jp/lifesaving_sports/rule.html) 「ライフセービングスポーツ→申請→競技成績証明書」を出力し、JLA 事務局までご提出ください。発行申請は該当競技会より1年以内の期間で受付をいたします。

■登録管理システム「LIFESAVERS」

システムを通じて「JLA-ID」を取得して、個人管理ページで保有資格等の確認と2019年度登録費（資格登録や選手登録）の支払いをお済ませください。各種登録は1年ごとです。なお、登録方法などご不明な点は下記のサポートセンターにお問合せください。

●メール：「LIFE SAVERS」のお問い合わせフォームをご利用ください。

<http://life-savers.jp>



■情報発信のための専用 Facebook ページの開設

競技会専用の Facebook ページを開設しました。こちらのサイトは、競技会関係各位へ2次的に情報提供するために運用します。

<https://www.facebook.com/jlajn/c/>

■お問い合わせ先

日本ライフセービング協会事務局
〒105-0013 東京都港区浜松町2-1-18 トップスビル1階
TEL：03-3459-1445（対応時間：平日12：00-18：00）
FAX：03-3459-1446

第45回全日本ライフセービング選手権大会 参加規程

1 参加資格

競技者の参加資格は下記の点を共に満たしている者、若しくは本協会が特別に参加を認めた者でなければならない。

- 1-1 競技者は、競技会初日当日満12歳以上でなければならない。(但し小学生を除く)
- 1-2 中学生は、特別同意書を提出しなければならない(別紙)。
- 1-3 競技者は、ライフセービングを志し、出場する競技会の過去1年以内に海岸やプール等水辺での監視・救助活動、教育活動に25時間以上従事した者でなければならない。(但し中学生を除く)
- 1-4 競技者は、申込締切日までに、選手登録が完了していなければならない。
- 1-5 競技者(一般)は、ベーシック以上の資格を所有していなければならない。
競技者(高校生)は、BLSおよびWS以上の資格を所有していなければならない。
※申込締切期日までに、必ず規定以上の資格を取得していること。

2 チーム構成

- 2-1 チームは、申込締切日までに、第1~6種の団体登録が完了していなければならない。
- 2-2 チームは、同じクラブに所属する競技者により構成されていなければならない。

3 チーム名

参加チーム名は本協会に登録されているクラブ登録名とする。

4 出場登録

- 4-1 参加競技者は、あらかじめ所定の用紙を用い出場種目の登録をしなければならない(エントリー不備等については代表者および担当者にメールでのみお問い合わせをいたします)。
- 4-2 申込に過誤があった場合に限り、出場登録(申込締切)後の「出場種目の変更」ができる。但し、すでに出場登録がされている方のみ対象とし、新たな競技者の出場登録はできない。

5 チーム代表者

各参加チームはチームを代表する者としてチーム代表者を1名おかななければならない。なお、チーム代表者と競技者はこれを兼任することができる。また、代表者会議に参加しなければならない。なお、やむを得ずチーム代表者が出席できない場合は、チーム代表者の責任において参加競技者の中で代表者に準ずる者が出席すること。

6 チームユニフォーム及び競技中の衣類

- 6-1 各チームは、式典や表彰式および競技に適したユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュガードを持たなければならない。
- 6-2 ユニフォーム、水着、キャップの性質、デザインが一般良識に反すると主催団体が判断した場合は、いかなる競技者も競技に参加することができない。
- 6-3 **キャップは、競技会の申込締切前までに本協会に登録が完了していなければならない。**
※キャップ登録は、すでに登録を済ませ変更がない場合は必要ない。
- 6-4 キャップは、チーム全員が同様の色とパターンでなければならない。オーシャン用とプール用で色やパターンが異なる場合、併用できない。キャップは、競技者の識別や判定のために重要であるため、スタート前に2本の紐をあごの下で結んで競技者の頭に着用しなければならない。スタート後に、キャップがとれたり、失ったりした場合、違反なしに競技が終了できていれば失格とはならない。
- 6-5 チームのユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュベストに競技会のスポンサーと対立するような商標、商標名があると主催団体が判断した場合、その対応は主催団体の指示に従わなければならない。
- 6-6 公式競技会におけるオーシャン競技・サーフ種目ではラッシュベストを着用しなければならない。ラッシュベストの着用なしでの参加は認められない。

7 競技器材

- 7-1 競技に使用する器材は参加競技者が用意するものとする。
- 7-2 競技で使用する器材は、「競技規則(2019年版)」の「器材の規格」の基準を満たさなければならない。
- 7-3 主催団体は、競技者の競技器材の検査・再検査を競技前、競技中、競技終了後任意に行うことができ

る。競技器材が基準を満たしていない場合は、その競技者はその器材を使用できないか、または失格となる。

7-4 競技者は、主催団体から器材にステッカー等の標示を添付する指示があった場合は、それに従わなければならない。

8 競技規則

本競技会は JLA 競技規則 2019 年版及び下記の事項に則り実施する。但し、下記の事項が競技規則 2019 年版よりも優先される。

- 8-1 本競技会は、最初の競技種目 7 の招集開始時刻に開始し、最終競技種目の終了から 20 分後に終了するものとする。ただし、抗議、上訴または規律審査に属する問題がある場合、最終解決まで競技会は継続する。
- 8-2 競技会にエントリーすることで、参加者は競技会を管理する関連規則、規定、手順を知る責任と義務があることを認識しているものとする。
- 8-3 競技者がビデオカメラを着用、または他の方法で競技者に取り付けてはいけない。
- 8-4 競技者はレースの開始から終了までの間、電子通信機器を使用してはならない。
- 8-5 ビーチフラッグスにおいて、競技中に起きた行為や競技規則違反についての抗議を申し出る競技者は、自分のヒートの次のランスルーの入場までに口頭で行うこと。
- 8-6 決勝は A 決勝、B 決勝に分けず、1 ヒート (A 決勝) のみとする。
- 8-7 ハンドラーは競技者と共に指定された時刻までに招集場所に集合し、オフィシャルの指示により整列すること。
- 8-8 予選後のラウンド、準々決勝・準決勝の組み合わせ配置は、直前の予選・ラウンドの結果に関係なく、ランダムに行われる。

9 審判員の選出

選出する審判員は、C 級認定審判員資格以上を取得し、競技者として登録していないこと。

※申込締切期日までに、必ず審判員資格を取得していること。

※申込締切期日までに、必ず審判員資格登録費をお振込下さい。

参加に関わる交通費、食事、宿泊は別紙「審判員・スタッフ募集要項」に基づき主催者が負担する。

選出する審判員は、BLS 以上の資格を所有していることを推奨する。

■各予選会の審判員の選出 (本競技会に選手登録をしていない方)

予選会への参加チームは以下のとおりに認定審判員を、チームエントリーと同時に選出しなければなりません。認定審判員を選出していないチームはエントリーが受け付けられません。

また、競技会期間を通じて参加できることを原則とし、例外的に参加日ごとに審判員が入れ替わることも可能とします。しかしその場合も、交通費は距離が近い方の 1 名分の交通費 (上限¥5,000 円) のみを支給します。なお、選出した審判員が参加できなくなった場合は、必ず代わりの方を選出してください。選出人数については、下記のとおりとします。

【近畿ブロック予選会】

◆選手 5~20 名=1名 ◆21~40 名=2名 ◆41 名以上=3名

【南関東ブロック予選会・東海ブロック予選会】

◆選手 5~15 名=1名 ◆16~30 名=2名 ◆31 名以上=3名

【北関東ブロック予選会】

◆選手 5~9 名=1名 ◆10~19 名=2名 ◆20~29 名以上=3名
◆30~39 名以上=4名 ◆40~49 名以上=5名 ◆50 名以上=6名

【申込み】

参加する審判員は、デジエントリーにより審判員参加申し込みを行うこと。

■本選の審判員の選出

本選への参加チームは以下のとおりに認定審判員を、選出しなければなりません。

認定審判員を選出していないチームは競技会に参加できません。

各予選に選手としてエントリーしていた方でも本選に出場しない方（個人種目・チーム種目共）は、本選の審判員参加を認めます。

また、競技会期間を通じて参加できることを原則とし、例外的に参加日ごとに審判員が入れ替わることも可能とします。しかしその場合も、交通費は距離が近い方の1名分の交通費（上限5,000円）のみを支給します。なお、選出した審判員が参加できなくなった場合は、必ず代替わりの方を選出してください。選出人数については、下記のとおりとします。

【本選】

近畿ブロック・東海ブロック

◆選手 5～20 名=1名 ◆21～40 名=2名 ◆41 名以上=3名

北関東ブロック・南関東ブロック

◆選手 5～15 名=1名 ◆16～30 名=2名 ◆31 名以上=3名

【申込み】

参加する審判員は、デジエントリーにより審判員参加申し込みを行うこと。

12 その他

- 12-1 競技会中に競技会主催者および競技会主催者が認めた者が撮影した写真、映像を、ライフセービングの広報の目的で使用することがある。
- 12-2 競技会中に競技会主催者が撮影を制限したり、拒否したりすることがある。
- 12-3 競技会主催者への提出書類の記載事項に虚偽が認められた場合、競技会への参加や記録が取り消されることがある。

（ 以上 ）